

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

高山赤十字病院 100th ANNIVERSARY Since1922

＝医師を志す方たちへ＝



医師を目指すみなさんを応援します

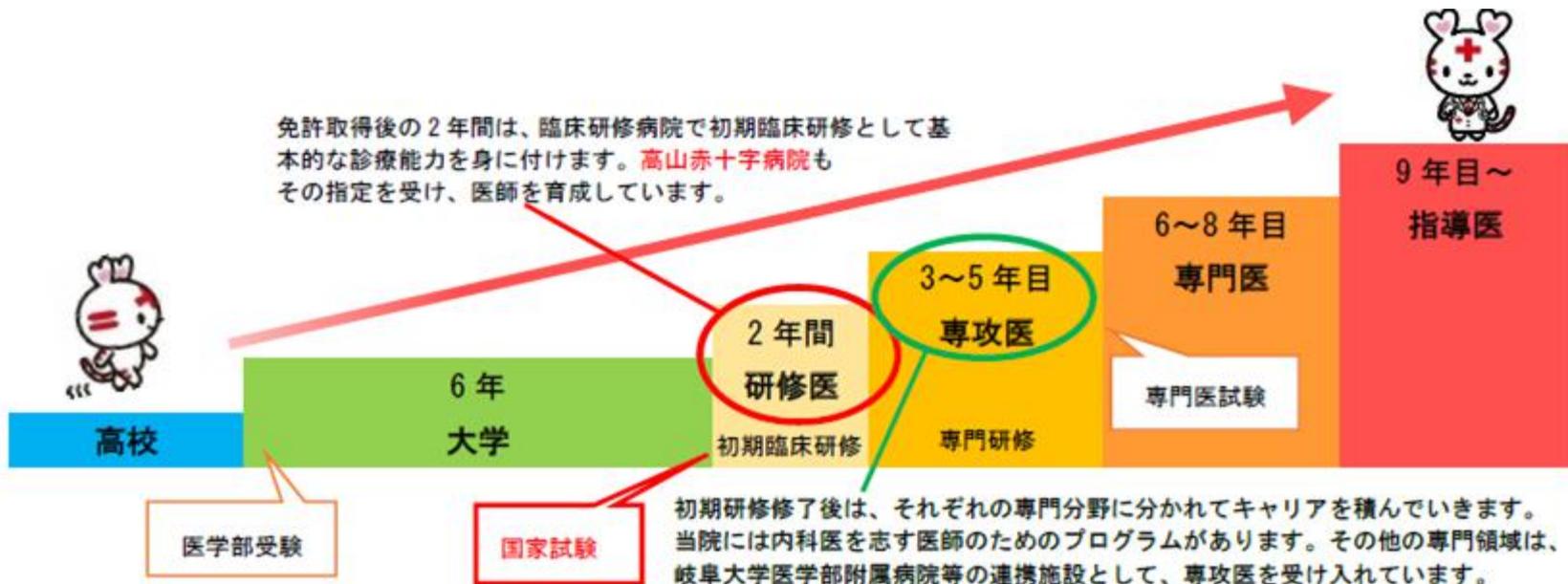
# 高山で医師になる

～ 高山赤十字病院 は臨床研修病院です ～

高山赤十字病院は令和4年に創立100周年を迎えた歴史ある病院です。当時より飛騨地域の中核病院として急性期医療を担い、地域の方々から大きな信頼と期待を寄せられてきました。当院は、昭和56年に地域医療の充実のため臨床研修病院の指定を受け、主に自治医科大学卒業の医師を受け入れてきました。平成16年からは新臨床研修制度が始まり、これまでに100名にのぼる全国の医学部卒業生が、当院で初期臨床研修を行ってきました。地元出身者も多く在籍し、各地で活躍しています。



# 医師のキャリア形成



# 全国から集まる研修医

さまざまな出身大学の仲間と、切磋琢磨しています。

～R4年度～  
岐阜大学  
自治医科大学  
長崎大学  
金沢医科大学  
東邦大学  
昭和大学

【中部】  
岐阜大学 名古屋市立大  
愛知医大 藤田医大  
福井大学 富山大学  
新潟大学 信州大学

【九州・中国】  
鳥取大学  
島根大学  
宮崎大学  
産業医大  
久留米大学  
琉球大学

【関西】  
大阪大学 近畿大学  
大阪医大 関西医大

【北海道・東北】  
札幌医科大  
山形大学  
福島県立医大

【関東】  
東京大学  
東京医科歯科大学  
順天堂大学  
東京女子医大  
帝京大学  
筑波大学  
自治医科大学



## あえてこの地で医療をしたい。 住み慣れた地域で、誇りをもって、負けない医療を提供したい。



岐阜県内で2人目となる「緩和ケア専門医」を取得したので、緩和ケアを充実していきたいと思っています。将来的には緩和ケア病棟、緩和ケア科を作り、患者さんにより良いケアができればいいなと思います。あとACP（アドバンス・ケア・プランニング）も力を入れて取り組んでいきたいです。

**今井 奨**

高山市出身  
斐太高校卒  
自治医科大学H14年卒

平成23年～高山赤十字病院 内科勤務  
飛騨地域中核病院の今後の連携に係る検討会議医師確保養成に関するワーキング会議座長を務める

医師になって一年目に  
「そうはいいっても、病気になって  
みんなとわからんぜ先生」  
と患者さんに言われたことを覚えて  
います。

そう、結局わからないのです。  
私は患者さんじゃないからわから  
ない。

それから夢や希望という言葉は使  
われないようになりました。

患者さんが私と話して笑うこと  
のできる一瞬があれば、それも果た  
す役割のひとつだと思います。  
診るというより聴くことが大切な  
のかもしれない。

### 緩和ケア専門医となって…

『時に治すことはできる  
和らげることはしばしばできる  
だが、患者を慰めることはいつでもできる  
医学は、いつでもできることは放棄して  
治すことに集中している』

(17世紀フランス アンブロワース・バレ)

治す治療は、他でもできる。  
都会に行っても受けられる。  
慰める医療は常に必要である。  
慰める医療に地域格差はないはず。  
住み慣れた地域で、慰める医療を提供したい。  
慰める医療のためには、緩和医療が必要であり

誇りをもって、負けない医療を提供したい。

### 私の医療信念を少しだけ…

飛騨の医療現状はどうでしょうか？  
都会とは違う・病院も小さい、医師の数も  
少ない。でも都会と同じように医療を受け  
られる権利があるはず。  
医療の進歩は著しく、細分化され専門性が  
高くなっている。  
医療の進歩はありがたいこと、いいこと。  
最先端やいい治療は都会に行って治療すれ  
ばいい。  
でも最後は住み慣れた場所で過ごしたい。  
「最後の砦」は必要。  
最低限でも平均的な医療を受けられる  
必要はある。

だから、あえてこの地で医療をしたい。  
少しでも力になりたい

## 大学生活は “とにかく楽しかった”

自治医科大学での学生生活は、とにかく楽しかったです。塾に通ったこともない自分が塾講師と家庭教師のアルバイトを週3日、中学から続けているハンドボールも週3日、授業は睡眠時間に費やしていました(笑)

授業は1年生時から解剖の授業があるなど早い段階で実践的なカリキュラムがあり、5年生時にはその年の国試と同様の試験を受け、それに受からないと6年目には進めないという前倒しのスケジュール。良くしたもので、皆それまでのんびりしているのですが、急にアクセル全開で勉強し始め、その切り替えは目を見張るほどでした。

## できるメディカルパーソンは 趣味も充実

趣味は「自宅でベンチプレス！」  
コロナ流行でジムに行けない中、自宅に筋トレ器具を置き、週に1回汗を流しています。

器具はAmazonにて発注、自宅に配送してもらいました。おかげで10kg体重(たぶん筋肉)が増えました！息子も一緒に筋トレをしています、まだまだ力では負けません！！

配送してくれた業者さんに感謝！！



夜勤明けに100kg

## HIDA Future Design ～将来こんな地元がいいな～

自然に囲まれてのんびり暮らせる飛騨の環境が残せたらいいな～。子育てもしやすいし。

高山日赤の役割として、今まで以上に総合的な診察医が求められる時代になると思います。そんな人材育成も必要になってくるんじゃないかな。

他には地域に出向いた医療を行うこともやってみたい。病院を飛び出し、訪問診療で在宅生活に寄り添った医療が大事になると思っています。



## 全ての経験が今大いに役に立っています

当院での初期研修2年間は、特に大学の先輩にあたるU先生と、現在岐阜大学救急部のY先生に多くご指導いただきました。当時から緩和ケアに興味があったため、一つの診療科に特化することなく全科を経験してみたいと思っていました。



～ここがポイント～

高山赤十字病院には19の専門領域のうち  
16の診療科に常勤医が在籍。  
その全ての診療科で研修が可能！

心エコーや  
乳腺外来・マンモ、  
胃カメラを経験

ICU・麻酔科から  
整形外科、病理を周  
る

高山赤十字  
病院

旧高根村診  
療所

県立多治見  
病院

荘川  
診療所

高山赤十字  
病院



高根診療所



## 元田 晴伸

飛騨市古川町出身  
斐太高校、自治医科大学卒

令和元年4月～令和3年3月  
高山赤十字病院にて初期臨床研修  
令和3年4月～白鳥病院 勤務  
令和4年4月～白川診療所所長 に着任

## 原点に「人を助けたい」という思い

中学生の頃から「人を助ける仕事」がしたいと思っていました。消防士、救急救命士など様々ありますが、保健師である母の影響もあり、姉弟みな医療の道に進んでいます。

医師を志そうと高校時代の授業の一環で高山赤十字病院を見学したことも印象に残っています。晴れて研修医となったとき、当時ご案内いただいた先生から「100人以上の高校生を案内して、医師になって戻ってきたのは元田が初めて」とおっしゃっていただきました。

初めて主治医として担当した患者さんは印象深いですね。上級医からは重症化する可能性を示唆されていましたが、その重要性を当時どのくらい分かっていなかったか…今思うと、もっと出来た事があるのではないかと思います。患者さんは長期入院を経て無事退院されましたが、その間、上級医に相談しながら本を読みあさり、何が最善であるのかを必死に模索しました。いつコールが鳴るかわからないので、帰宅するとすぐお風呂に入り、気の抜けない毎日でした。

今後は、原点に「人を助けたい」という思いがあり、3年目からはへき地医療に携わるので、今はあまり専門を強く意識していませんが、内視鏡検査や大腸カメラでのがん発見などやりがいと感じているので消化器内科が今の希望です。

## 医師不足で困っている地域で活躍出来たら嬉しい

幼少期よく熱発し、頻繁に病院にかかっていました。小学校高学年のころから「医者になったら家族のみんなが喜ぶかな」と思うようになり、医師を目指すようになりました。大学2年のときに受けた解剖の授業が興味深かったことや、初めての実習でお世話になった外科の先生方にあたたかく迎えていただきお世話になるうちに外科医を志すようになりました。

高校時代は吹奏楽部に入部し、トロンボーンを担当。頻繁にあるテストの成績が悪くと放課後気持ちよく部活に行けないので勉強にも励みました。部活動中心のあつという間の三年間でしたね。今も昔もスケジュールは詰め込みたいタイプで(笑)、登校して授業が終わると部活に行き、帰りにはコンビニでお腹を満たして塾に行き自習室で仮眠してから勉強しましたね。

大学ではジャズ研、軽音楽部に所属してさらに楽しさが広がりました。授業が終わると部活に行き、部活のない日は塾のアルバイトをする日々でした。テスト前も部活は休まず、徹夜してテストに挑むときもありましたが、そんな無茶も楽しい思い出です(笑)。

将来は、出世しキャリアを積むイメージからは遠く、医師不足で困っている地域等で活躍できたら嬉しいですし、地方でも専門的な医療が受けられるようになっていく一助になればと思います。

## 清水 里香

高山市丹生川町出身  
斐太高校、岐阜大学卒

令和元年4月～令和2年3月  
高山赤十字病院にて初期臨床研修  
(岐大初期研修のたすき掛け)  
令和3年4月～  
外科専攻医として高山赤十字病院勤務



令和4年度 研修医8名を迎えました



 **日本赤十字社** 高山赤十字病院  
Japanese Red Cross Society

〒506-8550 岐阜県高山市天満町3丁目11番地 TEL 0577-32-1111 FAX 0577-32-6802  
<http://www.takayama.jrc.or.jp/> E-mail dr\_kenshu@takayama.jrc.or.jp

